

2022年6月22日

株主の皆様へ

会社名 住友金属鉱山株式会社
代表者名 代表取締役社長 野崎 明

第97期定時株主総会の議案および当社経営に関するご質問等に対する回答について

2022年6月2日付「新型コロナウイルス感染症に関する当社の対応について」にてご案内申し上げましたとおり、6月24日（金）に開催予定の第97期定時株主総会における感染防止対策のひとつとして、総会当日の会場においてご質問をいただくことの代わりに、株主総会の議案や当社経営に関するご質問を6月16日（木）まで電子メールにて受け付けておりました。

頂戴いたしましたご質問等のうち、株主の皆様のご関心の高い事項について下記のとおり回答いたします。当社の対応にご理解ご協力をいただき、また、質問をお寄せいただきましたことに対し、深く感謝申し上げます。

記

ご質問等1：オーストラリアやカナダに、ニッケルが埋蔵されているように思うが、当社はこれら2か国で権益を持っているか。
回答：当社はオーストラリアとカナダにはニッケル権益を保有しておりません。なお、ニッケル資源は従来から継続して探索しており、具体的な報告ができるように早期に進捗させたいと考えております。
ご質問等2：東北大学と「太陽光」の研究の進捗状況は如何か。
回答：東北大学とのビジョン共創型パートナーシップは、2050年をターゲットとして同大学と策定した「太陽エネルギーで地球のエネルギー需要をまかなう」というありたい姿の達成に向け、2020年度から本格的に活動を行っております。現在、東北大学の有望な研究シーズを当社の強みを生かす形で育成すべく基礎研究に取り組んでおります。開発対象は、エネルギーを「作る、貯める、運ぶ、使う」材料とし、新材料・新プロセスの開発と、マクロ社会や市場トレンドを踏まえた取り組むべきテーマの探索とを並行し進めており、太陽エネルギーの電気などへの変換にとどまらず、現状捨てられている各種排熱をエネルギーとして回収するための熱発電材料や、エネルギーを効率よく貯めるための蓄エネルギー材料の検討などに取り組んでまいります。

以上